

離任される先生方の メッセージ

令和3年3月26日

注. 目黒先生、牧口先生は定年退職となりますが、引き続き再任用教諭としてご勤務いただきますので、今回メッセージは掲載しておりません。

離任の言葉

教頭 瀬下 学

平成31年の4月から令和3年3月までの2年間、ここ十日町高校での勤務は私にとって、とても充実したものでした。

最初の年で一番印象に残っているのは、ゲリラ豪雨に祟られた体育祭です。突然空が雨雲で覆われたと思ったら、土砂降りの雨でグラウンド全面が水浸しになり、打ち切りが決定。しかし翌日に応援パフォーマンスを行い、みなさんの練習の成果を発表することができたのは幸いでした。

次に思い出すのは1年6組での授業です。週に2時間、物理基礎を担当しました。妙にノリのいいというか、元気なクラスで、こちらのやる気もアップしていきました。このクラスでは冬にインフルエンザが大流行し、学級閉鎖かというような危機もありましたが、無事に終息しました。まだコロナが流行する前です。

2年目は早々にコロナウイルス感染防止のため、臨時休校となりました。何とか学校生活を始めたいと分散登校や時差登校など知恵を絞ったのを思い出します。

この年は3年生文系クラスをすべて週1時間ずつ担当しました。入試制度の変化、感染症対策による影響、部活動の大会の中止など困難が続いた学年でしたが、何とか乗り越え、それぞれの進路先へ送り出すことができよかったですと思います。まだまだ、困難は続くと思いますが、頑張ってください。

話は変わりますがこの2年間で感じたことを書きたいと思います。ここ数年、本校では大学等進学率や国公立大学への合格数など進学の実績が上がったり、高校入試では特色化選抜で多くの受検生が本校を志願。一般入試でも多くの受検生が本校を選んでくれました。もちろんすべてを受け入れることはできませんでしたが、このような状況から、いま十日町高校は地域から信頼され、地域から選ばれる学校となっているのではないかと感じます。言い換えると本校は「いい波に乗っている」のではないかと考えています。このような波は私たちが十日町高校に来る前の先人たち、先輩たちの努力や頑張りのおかげで作上げられたものだと思います。これからは皆さんがこの波を絶やさず、さらに大きなよい波が続くよう、学習にも部活にも全力で取り組んでほしいと思っています。みなさんの努力やよい行動で十日町高校をより魅力的で、誰からも羨ましがられる学校にしてください。

最後に私事ですが、十日町高校は私の父、母も教員として勤務した学校です。親子2代に渡りこの地で勤務できたことに何か不思議な思いと十日町への感謝の気持ちがこみ上げてきているところです。

これからの十日町高校の飛躍とみなさんの幸せをお祈りし、離任の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

この1年

国語科 吉田快正

十日町高校へ赴任してから1年が経とうとしています。休校に始まり、様々な行事の中止、大会の中止などもあり、社会も様変わりしてしまった1年だったように思います。

私は、今年度で退職することを決めました。一昨年に母を亡くし、昨年7月末に妹を亡くし、ひとりの生活になりました。定年退職の年限まであと5年という所で、もう少し頑張ろうという気持ちもありましたが、様々なことを考え、退職することにしました。

社会の様相、自分自身の状況がめまぐるしく変わった1年でした。たった1年しか在職せず、何もしなかった、できなかった、周囲に迷惑をかけるだけの1年でした。これからも会うことがあるかと思いますが、真面目な、一所懸命なみなさんは、その姿勢を貫いてください。

先々のことに不安を抱えることも多くあろうかと思いますが、先々のことはわからないのだから必要以上に悩むことなく、今を、1日1日を、精一杯やっていくことしかない。出来る限りのことをやっていくしかない。そうやって踏ん張って生きていってください。

教員に採用されて32年、一区切りをつけて、また自分なりの生活を作っていこうと思っています。短い時間でしたが、ありがとうございました。

離任の言葉

国語科 高橋 慧

平成31年度(令和元年度)から令和2年度の2年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。十日町高校で勤務できたことに心から感謝しています。ありがとうございました。さて、離任の言葉として最後に3点伝えたいと思います。

1点目は、自分の可能性を開花させる努力をしてほしいということです。これは勉強部活でも何でもかまいません。ただ、努力を重ねてほしいと思うのです。みなさんには多くの可能性があるわけですが、日々を無為に過ごしていると、この可能性はみなさんの内側で可能性のままに終わってしまいくれよう。可能性を開花させてこい、と思うわけです。努力を重ね、自らの可能性を開花させ、昨日より今日、今日より明日に成長していってください。

2点目は、自分を信じてほしいということです。今年度、授業で担当していたのは3年生だけでしたが、受験勉強をしっかりと行っている人でも、不安になっている様子を見る機会が何度かありました。もちろん、不安になるのは当然だと思っています。なぜなら、今までの受験とは異なり、全国の受験生との競争だからです。しかし、不安な気持ちだけいなく、自分の努力を認め、自分を信じる気持ちも忘れずに持ってほしいと思います。これは勉強だけでなく、部活動等においても同様です。自分の努力を客観的に捉え、謙虚に、しかし確かな自信を持って何事にも臨んでいってください。

3点目は、社会貢献をしてほしいということです。自分の可能性を開花させる努力をして、自分を信じ、そしてその先で何をするのか。人間は社会的動物であるため、答えは自ずと出てきます。自分自身を高める、そしてその能力を生かして社会貢献する。そういったことを自然とできる人間になってほしいと思います。私が今こうしてここにいるのも、私なりの社会貢献です。高校卒業後に就職するなり、それもあなたの、あなたなりの社会貢献でいれようし、専門学校へ進学して技術・資格を習得し、生かすのもそういれよう。大学へ進学し、獲得した知識もさることながら、鍛え上げた思考力を用いて社会貢献するのも良いいれよう。最大限の努力で自分の可能性を開花させ、自信と責任を自覚的に持った上で、自らの意志で選択した形での社会貢献を果たしていってください。

以上を、私の離任の言葉とさせていただきます。4月からは県立佐渡中等教育学校で勤務することになりました。十日町から離れなくてはならないこと、心中に去来する思いがありますが、十日町高校で過ごした2年間の素敵な出逢い、思い出を胸に前を向こうと思います。これからもお互い頑張って生きていきたいと思います。2年間、ありがとうございました。

離任のことば

堀川 裕貴子

「なぜ地理歴史を学ぶのか」「地理歴史は何の役に立つのか」皆さんはどう考えますか？

この2つの問いを頭に入れて5年間過ごしました。とくに「地理は何の役に立つのか」、これを世に示していかなければという意識のもとで活躍するアメリカやオーストラリアなどの海外の地理学の先生、日本国内の高校・大学の地理の先生方と一緒にアクティビティする機会が数年前にありました。私自身「お役に立てばうれしい」くらいの気持ちでした。なぜ教科書に地域調査の単元が載っているのか(多くの学校では実施していないという調査結果あり)、なぜ地図の読み方や作り方が載っているのか、私自身意識して教えてきたかどうか。これらの問いはこれからも続いていきます。

さて、十日町高校では1年世界史や2年・3年の地理を担当させていただきました。グラウンド側の教室での授業が多く、春は桜吹雪が入ってきたり、3学期は雪まつり会場設営がみえたりと、十高でしか味わえないスペシャルな環境でした。世界史出前講義やディベート大会、地理のフィールドワーク、環境問題グループ発表、自分の住む地域レポート、輸入食品の成分表示翻訳など、様々な活動が得意な十高生でした。今年度は2年3・4組地理選択者と5～6組の皆さん、晒川沿いを歩いてフィールドワーク、自然災害伝承碑で記念撮影しましたね。「毎日通っていたけど、内容は知らなかった」という感想もありました。5、6組の皆さん、韓国の模擬授業ありがとうございました。

卒業生の皆さんとは、昨年度は沖縄事前学習で日本史地理との合同授業を行ったり、学年全体で主権者教育を行ったりしました。たくさんの思い出の中心には、やはり授業がありました。十高生の皆さんと共に授業をつくっていくことができました。あらためて感謝申し上げます。皆さんどうぞお元気で！

離任の挨拶 三富 真之

十日町高校では、5年間お世話になりました地歴・公民科の三富です。私は十日町高校に赴任する前の23年間は、ずっと徒歩で通勤していました。それが十高に赴任することが決まり、十日町市に引っ越すかそれともそのまま小出にとどまるか非常に迷いました。結果として、朝がめっぽう弱いのに朝5時に起きて、始発の6時15分に乗車し、ほくほく線に乗り換える手段を選択しました。それももうあと数日で終わりになるかと思うと、なんだかほっとする気分と少し寂しい気持ちの入り混じった複雑な心境です。

話は変わりますが、私は一応公民（政治・経済）が専門教科・科目なので、特に文系の生徒の皆さんとは、2年次から授業で深いかかわりを持つことが出来ました。私が授業中常に意識したのは、政治・経済や現代社会を学ぶことがいかに実生活と密接に結びついているのか、そしてそれが社会人になってもいかに役に立つことなのかということを実感させる。さらに学ぶ過程で、個々のテーマの理論や課題（理想と現実）を理解する、疑問を持つ、そして分かることの面白さを一人一人が痛感する。以上のことに力点を置いてきました。どれだけそのことが伝わったかは分かりませんが、勘のいい皆さんのことですからある程度はそれらが通じたことでしょう。

最後になりますが、新3年生の皆さんは、ラストの授業で取り上げましたが、衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官の国民審査が間近に迫っています。主権者としての第一歩を踏み出すわけですが、熟慮してその権利を行使してください。間違っても選挙権を放棄することのないよう願っています。

また逢う日まで

数学科 福島昭典

平成27年4月より十日町高校でお世話になってきましたが、このたび諸事情により、無念ながら新潟を離れることになりました。教員を志し、会社を退職して新潟にやってきたのが16年前。以来、私の教員としての人生は新潟県とともにありました。このまま定年まで新潟県に居着くつもりでしたが、人生何が起こるか分からないものです。

4月から、私は神奈川県教員になります。皆さんが初めて十日町高校に登校した日の時と同じように、いま不安しかないのですが、十高生の皆さんと過ごした日々や、そこで得た経験を忘れずに再スタートを切りたいと思います。授業では計算間違いばかりしてたけど。もし、皆さんの進路先が神奈川になったとき、横浜の中華街でばったり会ったときは声をかけてください。肉まんをごちそうします。湘南の海でばったり会ったときも声をかけてください。生しらす丼をごちそうします。

「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し。」

『論語』為政第二

学んで、その学んだ内容を自分の中に落とし込まなければ身につくことはない。自分で考えるだけで人から学ぼうとしなければ考え方が偏ってしまい危険である。

十日町高校には、頼りになる先生方と、ともに励まし合える仲間たちに恵まれた、全国的にも希少な素晴らしい学校だと思っています。この恵まれた環境で真摯に学んでいけば、上のように孔子が心配したことなど、起こるはずもないと信じています。その中で、自分の進路を見極め、その実現に向けて全力で頑張らしましょう。

6年間、ありがとうございました。ごきげんよう。

離任のあいさつ

英語科 中村 達希

十日町高校に来て2年間、大変充実した日々を過ごさせていただきました。できれば最後は皆さんの顔を見て離任の挨拶をしたかったのですが、世の中がこういった状況ですので文面をもって挨拶と代えさせていただきます。

私は担任をしていなかったもので、主に授業でみなさんと関わることになりました。部活動等で忙しく過ごす中、高校での学習に真剣に取り組んでいますか。十日町高校のみなさんは授業には本当に熱心に取り組んでくれました。何かを投げかければ期待以上のものが返ってきて、困った時に生徒の皆さんに助けられることがたくさんありました。一方で、我々教員は家庭学習の様子についてはどうしても把握しにくいです。将来なんの役に立つのかよくわからない科目を毎日熱心に学習するのは簡単なことではありません。しかし、表面的、短期的には意味がないと思われることも、視点を変えたり時間が経ったりすれば意外なところで役に立つものです。十日町高校のみなさんが学習することに自分なりの意味を持たせ、幅広い分野の学習に主体的に取り組んでいくことを願っています。自ら進んで行う学習は、何歳になっても楽しいものです。私は今、料理の勉強を楽しんでいます。

部活動でもみなさんと多くの時間を過ごしました。十高バスケットボール部は選手、マネージャー全員がとても真剣に取り組んでいて、卒業生や地域の方も応援してくれる素晴らしい環境です。時には顧問やコーチ、卒業生から厳しい言葉をかけられることもあったと思います。場面ごとに選手が自分で適切な判断をしなければならないスポーツですから、言われた通りやればうまくいくとも限りません。そういった意味では、バスケットは先の見えない時代で着実に前に進むための判断力を育てくれる素晴らしいスポーツです。2年間関わったバスケット部のみなさんが、新入生を加えた新たなチームで活躍することを期待しています。

私は佐渡総合高校という学校に異動になります。皆さんとの出会いで多くの学びがありました。お互い健康に留意して頑張りましょう。ありがとうございました。

十校生の皆さんへ

家庭科 齋藤まゆみ

定年後の再任用教諭として1年間お世話になりました。久しぶりの高等学校勤務のせいか、歳をとったせいか、展示してある書道作品や吹奏楽の音色、運動部の朝練にさえ感動していました。そして、冬の廊下でのトレーニング姿を見たときに、遙か昔の自分の高校時代を思い出し、懐かしさがこみ上げてきました。「もっと頑張ればよかった」という思いとともに。

高校時代は二度と来ません。心と体と頭が柔らかいうちに、何事にも精一杯取り組んでください。挑戦してください。そして、何か一つでも「これは頑張った」と言えるものがあるといいですね。

2，3年生の皆さん、家庭科の教科書・資料集は日常生活で役立つ情報や生活の知識・知恵が満載です。手放さずに生涯活用してください。1年生の皆さん、4月からの家庭科の授業を大切にしてください。隙間時間に家庭科の資料集を見て、いろいろな発見をしてください。

最後になりましたが、皆さんの健康と活躍を心よりお祈りしています。1年間、ありがとうございました。